環境団体参加による拠点調査

参加の状況

平成 27 年度の動植物調査では、市内の環境団体参加による拠点調査も実施しました。

春期から冬期までの４期で、西恋ヶ窪緑地と姿見の池緑地の２箇所を対象地としました。調査内容は、季節に合わせて、植物や鳥類、昆虫類、水生生物の分類群を選び、専門員の協力のもと、実習と調査を行いました。

毎回 20 名近くの方が参加し、捕虫網やタモ網を振るい、専門員への質問も多く寄せられました。

調査中に確認した動植物の中には、ミズイロオナガシジミやセミヤドリガ、オオタカなど、専門員調査では見つからなかったものも含まれ、貴重な調査となりました。

今後も、市内の環境団体の方と協力しながら、動植物の生育・生息状況を把握していきたいと考えています。



姿見の池緑地での植物調査の様子

市民アンケート調査の結果

アンケートの対象種群

市民の皆様の協力によるアンケート調査を、以下の８種群を対象に行いました。目撃期間は、５月から 10 月までです。



①オナガ



②ツバメ



③カブトムシ



④アゲハチョウの仲間



⑤ネジバナ



⑥どんぐり類



⑦ニホンヤモリ



⑧ヒキガエル

市民アンケート調査の対象８種群

参加の状況

市民を対象にしたアンケートの結果は、報告件数 181 件 1,715 サンプルでした。このうち、調査対象の 8 種群については、533 サンプルが得られました。

また、市立小中学校から報告件数 541 件 2,721 サンプルが得られ、このうち調査対象の 8 種群については、758 サンプルが得られました。

市民アンケート調査の結果（特に探してほしい生きもの 8 種群）

分類群	種名	サンプル数		合計サンプル数	割合（%）
		市民対象アンケート	市立小中学校アンケート		
鳥類	オナガ	155	41	196	15.2
	ツバメ	62	101	163	12.6
昆虫類	カブトムシ	12	166	178	13.8
	アゲハチョウの仲間	159	228	387	30.0
植物	ネジバナ	46	20	66	5.1
	どんぐり類	16	41	57	4.4
は虫類	ニホンヤモリ	47	97	144	11.2
両生類	ヒキガエル	36	64	100	7.7
合計		533	758	1,291	100.0

市民アンケートでは、アゲハチョウの仲間が最も多く、ついでオナガ、ツバメ、ニホンヤモリ、ネジバナなどでした。小中学校へのアンケートでは、アゲハチョウの仲間が最も多いのは同じで、ついでカブトムシ、ツバメ、ニホンヤモリなどでした。

町名別の集計（目撃マップ）

アンケートの結果を、町名別に集計したものを下表に示します。なお、確認場所を「武蔵国分寺公園」として報告されたデータは、本来は西元町と泉町の 2 つの町にまたがりますが、別途、公園名でデータにまとめました。

最も目撃した町名の数が多かったのは、アゲハチョウの仲間で、市内の 19 町名全てから報告が得られました。次いで多かったのはオナガで、16 町名から報告されました。一方で、比較的サンプル数の多いカブトムシは、市内の西側からの報告が多い傾向でした。

次ページに種群別の目撃マップを示します。

アンケート対象種群の町名別の集計結果

対象種名	東元町	西元町	南町	泉町	武蔵国分寺公園	本町	本多	東恋ヶ窪	西恋ヶ窪	東戸倉	戸倉	日吉町	富士本	内藤	光町	高木町	新町	北町	並木町	西町	不明	サンプル数
オナガ	1	1		2	2	1	3	3	15	10	20	10	4	1	2	7	1	3	1	100	9	196
ツバメ	3			2	4	1	14	9	3	1	8		2		1	2	1		52	42	18	163
カブトムシ								1	30		16	1	3		3	9	26	13	8	26	42	178
アゲハチョウの仲間	7	5	7	3	2	11	14	15	43	17	49	18	13	4	20	15	19	14	17	58	36	387
ネジバナ	1		2	2		3	4	6		1	6	2	3	2	9	3		2	4	7	9	66
どんぐり類			1	2	1			5	22	1	4		1		2	3	5	1	2	3	4	57
ニホンヤモリ	2	1	5	1		1	8	7	19	2	17	2	9	3	5	7	9	9	6	18	13	144
ヒキガエル	4	1	3	1			5	5	12	1	7	2	6	2	1	7	9	5	8	6	15	100
合計	18	8	18	13	9	17	48	51	144	33	127	35	41	12	43	53	70	47	98	260	146	1,291